

令和3年度 受精卵移植関連新技術全国会議(第25回)開催要領

趣 旨

本会議は、平成26年度から受精卵移植関連新技術全国会議という名称となり、受精卵移植に関連する試験や実務を担う全ての機関や技術者を対象に開催しています。近年は、飼養戸数の減少、飼料価格の高騰、新型コロナ感染症等の影響もあるなか、乳用牛では、性選別精液の活用もあり飼養頭数がこの数年微増し、改良に伴って1頭当たりの乳量も向上しています。肉用牛の飼養頭数は大規模飼養形態化に伴って増加し、また、中国をはじめ世界的な牛肉需要の高まりに伴い、国内生産の重要性が増しています。

今回の会議では、畜産物の生産基盤をより強化するため、畜産・酪農をめぐる最近の動向、繁殖分野を中心としたスマート畜産を活用した研究についての話題提供や受精卵移植関連の共同試験の実施状況の検討を行います。これらの取組を通じ、関係者間の情報交換及び研究の連携構築を図ります。

記

- 1 開催日時
令和4年3月11日(金) 13:15~17:30
- 2 開催場所
Microsoft Teams を使ったウェブ開催
独立行政法人 家畜改良センター本所
(福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原1)
- 3 参集範囲
農林水産省、独立行政法人、国立研究開発法人、都道府県、民間等の関係者
- 4 主催
独立行政法人 家畜改良センター
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門
- 5 事務局
〒961-8511 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原1
独立行政法人 畜改良センター 企画調整部 管理課 担当：吉岡 一

《参加申込送付先》

独立行政法人 家畜改良センター 企画調整部 管理課 担当：佐藤 淳子
E-mail : ettech※nlbc.go.jp (「※」を「@」に変えて送信して下さい)
TEL : 0248-25-6164

6 開催内容

(1) 開会の挨拶 (13:15~13:25)

独立行政法人 家畜改良センター 理事長 入江 正和
農研機構畜産研究部門 所長 高橋 清也

(2) 行政部局からの情勢報告 (13:30~13:50)

肉用牛の改良増殖をめぐる情勢

農林水産省 畜産局 畜産振興課 係長 小笠原俊介

(3) 繁殖分野におけるスマート畜産技術の活用 (13:55~16:25)

① 「低侵襲・簡易迅速な牛早期妊娠判定技術の開発と評価」

北海道大学 大学院農学研究院 教授 高橋 昌志

② 「画像認識技術を活用した非接触による肉用牛の分娩兆候検出」

北里大学 獣医学部 准教授 鍋西 久

③ 「画像による乳牛の安産・難産予測」

農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門 上級研究員 青木 真理

④ 「IoT データを活用した養豚繁殖モデル」

家畜改良センター宮崎牧場 係長 瀧下 梨英

(4) 受精卵移植等に関する道県共同試験の取り組み (16:30~17:25)

① 効率的ウシ胚生産技術共同研究グループ

「効率的ウシ胚生産技術共同研究取り組み状況報告」

栃木県畜産酪農研究センター 主任研究員 湯澤 裕史

② 雌雄産み分け技術共同研究グループ

「雌雄産み分け技術共同研究取り組み状況報告」

新潟県農業総合研究所畜産研究センター 主任研究員 山家 崇

7 閉会

以上